

平成28年度 科学研究費助成事業（特別推進研究）  
研究進捗評価 現地調査報告書

課題番号	15H05693	研究期間	平成27年度～平成31年度
研究課題名	拡張テレスコープアレイ実験 - 最高エネルギー宇宙線で解明する近傍極限宇宙		
研究代表者名 (所属・職)	佐川 宏行 (東京大学・宇宙線研究所・准教授)		

評価コメント

本研究の拡張テレスコープアレイ実験 (TA×4) は、従来のテレスコープアレイ実験 (TA) の観測面積を4倍にして、最高エネルギー宇宙線の起源に迫ろうというものである。現時点では、研究は順調に進んでいると判断されるが、プラスチックシンチレータ検出器の設計を変更したことにより、検出器数が当初計画していた数より減少する可能性が高いので、当初の目的をできるだけ達成できるよう最大限努力すべきである。また、検出器を設置する土地の使用許可を現在申請中とのことであるが、現地研究者と緊密に連絡を取って確実に計画を進めることが重要である。当初計画で予定されている時期に検出器の設置が完了し、観測が開始されることを期待する。